

人文社会科学部

人文社会科学部は、人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ、教育力、研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ、卒業後は全国で公務や教育の現場で、あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

人文社会科学部の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像（3つのC）

- Challenge** : 人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人
Cooperation : 多様な価値観を尊重し、協調性を持って、倫理的に行動できる人
Contribution : 活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

以上のような観点から人文社会科学科各コースでは、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

人文社会科学科

（人間文化コース）

人間文化コースは、文化人類学、日本学、歴史学、文化解釈学、認知情報科学の5つのプログラムから成り、それぞれの学問において、古今東西の文献・作品を分析する資料分析科目、実際に調査を重ねる課題解決型科目、仮説を実証的に検証する実験科目など、人文科学の多彩な手法を用いて研究を進めます。情報処理や語学などの基礎的スキルを学んだ上で、講義・演習で特定分野の専門知を体系的に修得し、その知識をいかした課題解決型の演習に取り組むという過程を通じて、創造性豊かに社会に貢献できる人材を養成します。

人間文化コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・人間とその文化的活動に強い関心を持ち、人文科学の諸分野を学ぶ意欲を持っている人（Challenge）
- ・異なる意見を理解し、自分の考えを論理的に表現することで、他者との協調を図ることのできる人（Cooperation）
- ・高等学校卒業水準の基礎的学力を身につけており、大学で習得する知識や経験を社会の課題解決に生かす意欲を有する人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の基礎的学力及び応用的な言語運用能力を身につけた入学者を選抜するために、大学入試センター試験における国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科の教科・科目と小論文の個別学力検査を課し、基礎的学力と読解力・論理的思考力・記述力を評価します。

一般入試（後期日程）

高等学校卒業水準の基礎的学力及び応用的な言語運用能力を身につけた入学者を選抜するために、大学入試センター試験における国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科の教科・科目と外国語の個別学力検査を課し、基礎的学力と読解力・記述力を要する英語の学力を評価します。

推薦入試 I

人間とその文化的活動への強い関心と人文科学への勉学意欲を持っている入学者を選抜するために、書類審査と面接を課し、基礎的能力と人文科学に対する関心・問題意識等を総合的に評価します。

私費外国人留学生入試

人文科学と日本の社会・文化に強い関心と勉学意欲を持っている入学者を選抜するために、日本留学試験と面接を課し、基礎的学力および日本語運用能力と人文科学に対する関心・問題意識等を総合的に評価します。

（グローバル・スタディーズコース）

グローバル・スタディーズコースは、国際地域研究と多文化研究の2つのプログラムから成っています。外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究をおこなうことで、地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。

グローバル・スタディーズコースの求める学生像および入学者選抜方法は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人（Challenge）
- ・留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人（Cooperation）
- ・基礎的な英語力を身につけており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身につける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の学力を身につけた入学者を選抜するために、大学入試センター試験（国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科）そして個別学力検査（英語）を課します。高等学校で学ぶ教科・科目についての基礎的な知識並びに英語力を評価します。

推薦入試 I

グローバル・スタディーズコースで学ぶ明確な目的と意欲を持ち、在学中に優れた活動実績がある者、国際社会・異文化理解・外国語について深い関心がある者を選抜するために、書類審査（推薦書、調査書、志望理由書）及び面接を課します。志望理由書に基づく質疑応答を重視しつつ、書類審査と面接の結果を総合して評価します。

（総合法律コース，地域公共政策コース，経済・マネジメントコース）

各コースの概要は、次のとおりです。

【総合法律コース】

総合法律コースでは、体系的な法学教育を通じて法律学の基礎的知識を修得したうえで、学際的な教育プログラム及び法律専門機関等との連携・協力による実践的視点を養う教育プログラムの履修を通じて、幅広く応用可能な法的思考能力を身に付けることができます。法律学の視座から地域社会の課題解決に取り組むことのできる人材を養成します。

【地域公共政策コース】

地域公共政策コースでは、地域社会やコミュニティが抱える様々な課題を適切に把握・分析し、実践的な活動を通じてその解決に取り組むことのできる人材を養成します。産官学民の枠を超えて協働し地域活動や政策形成を行うことのできる、地方創生の担い手として必要な知識・能力を身につけることができます。

【経済・マネジメントコース】

経済・マネジメントコースでは、経済社会で活躍するために不可欠な知識や思考力を身に付けることができます。専門科目の体系的な履修に加えて、コース横断的な科目や多彩な実践科目の履修を通じて、経済社会の課題解決と持続可能な地域経済発展に貢献できる人材を養成します。

◆求める学生像

- ・社会に対する強い関心と社会科学を学ぶ強い意欲を持っている人（Challenge）
- ・物事を論理的に考える力や自分の考えをわかりやすく伝える力を持ち、異なる価値観を持った人たちと協調的に行動できる人（Cooperation）
- ・高等学校卒業水準の学力を有し、大学で身に付けた知識や考え方を生かして社会の発展に貢献する意欲のある人（Contribution）

◆入学者選抜方法

一般入試（前期日程）

高等学校卒業水準の学力と社会科学を学ぶ上で必要となる学力を身に付けた人を選抜するため、大学入試センター試験（国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科）を課します。個別学力検査等では英語・数学のいずれかを課し、基礎的知識、論理的思考力、表現力を評価します。

一般入試（後期日程）

高等学校卒業水準の学力と社会科学を学ぶ上で必要となる学力を身に付けた人を選抜するため、大学入試センター試験（国語・外国語・地理歴史・公民・数学・理科）を課します。個別学力検査等では英語を課し、基礎的学力、論理的思考力、表現力を評価します。

推薦入試Ⅰ

それぞれのコースで学ぶ意欲、在学中の優れた成績・活動実績を有し、社会への深い関心を持った人を選抜するため、書類審査（推薦書、調査書、志望理由書、読書感想文）と面接を課します。協調性を持って倫理的に行動できるか、社会の発展に貢献する意欲があるかについても評価します。

社会人入試

調査書・志望理由書などの出願書類及び面接の結果を総合して合否を決定します。面接では、社会的関心と視野の広さなどを評価します。また、社会の発展に貢献する意欲も評価します。

私費外国人留学生入試

日本の社会に強い関心があり、社会科学を学ぶ意欲を持っている人を選抜するため、日本留学生試験と面接を課し、基礎的学力、日本語運用能力、社会科学に対する関心や問題意識等を総合的に評価します。